

令和 7 年度事業報告

世界では国際情勢の不安定化や紛争の長期化、物価・エネルギー価格の高騰、さらには気候変動に伴う自然災害の頻発など、私たちの生活にも大きな影響を及ぼす出来事が相次いで起こりました。国内に於いては少子高齢化と人口減少の波が止まらず、世界でも最も急速に高齢化が進む国の一つとされ、2040年には全国民の約3人に1人が後期高齢者になると予測されています。

このような状況の中、前年度の目標を達成すべく取り組んでまいりました。特養と短期入所生活介護事業に於いては、責任者と密に連携を図り、現員者数を随時確認することにより前年度を大幅に上回ることが出来ましたが、それでも目標の90%を超えることが出来ませんでした。

まごころ園に於いては、日々の援助の在り方を再度見直し、健康管理を徹底し入院者数を激減させることが出来、また曾於市内の居宅介護支援事業所や医療機関とこまめに連携を図ることにより稼働率95%を超えることが出来ました。

通所介護事業に於いては、入所や入院等の影響もあり利用率は微減となっております。

児童福祉事業に於いては認定こども園となったことや、これまでの地道な取り組みが地域の方々の評価につながり利用率は増えております。今後は地域の児童の数も減少傾向にありますので、より魅力的な取り組みを実践し園児の確保に努めてまいります。

私たち社会福祉法人松山やっちく会が、この地域になくてはならない存在であり続けるために、これまで以上に公益的な取り組みの実施、地域に根差した地道な取り組みや活動が必要になってくると思われます。今後もやっちく会の一員としての自覚を強く持ち、多様化するニーズに柔軟に対応し、常に利用者目線に立ったサービスが行えるよう研鑽を重ねていく必要があります。利用者様に生きがいを持って生活していただけるよう支援していくことがやっちく会に与えられた使命と考え、地域福祉の推進の中核団体であることを強く自覚し、職員一丸となって事業運営に邁進していきたいと考えます。